

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【公開番号】特開2019-124898(P2019-124898A)

【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-030

【出願番号】特願2018-7353(P2018-7353)

【国際特許分類】

G 0 9 G	3/20	(2006.01)
G 0 2 F	1/1343	(2006.01)
G 0 2 F	1/133	(2006.01)
G 0 9 F	9/30	(2006.01)
G 0 9 G	3/36	(2006.01)
G 0 9 G	3/3233	(2016.01)
H 0 1 L	51/50	(2006.01)
H 0 1 L	27/32	(2006.01)
H 0 5 B	33/02	(2006.01)

【F I】

G 0 9 G	3/20	6 1 1 J
G 0 2 F	1/1343	
G 0 2 F	1/133	5 0 5
G 0 9 F	9/30	3 3 8
G 0 9 F	9/30	3 3 0
G 0 9 F	9/30	3 0 8 Z
G 0 9 G	3/20	6 4 2 A
G 0 9 G	3/20	6 2 2 C
G 0 9 G	3/20	6 2 1 M
G 0 9 G	3/36	
G 0 9 G	3/3233	
H 0 5 B	33/14	A
H 0 1 L	27/32	
H 0 5 B	33/02	

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

表示パネル10が有機電界発光パネルである場合、表示パネル10は、例えば、図1、図2に示したように、行方向に延在する複数の走査線W_{SL}と、列方向に延在する複数の信号線D_{TL}と、行方向に延在する複数の電源線D_{SL}と、行列状に配置された複数の画素11とを有している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

[変形例F]

上記実施の形態およびその変形例において、ライトスキャナ32は、例えば、図15に示したように、引出線CNLの一端から走査線WSLとの接続点(コンタクト部TH)までの距離に応じたパルス幅Dで、複数の引出線CNLに選択パルスPwを供給し、パルス幅Dを、上記の距離が長くなるにつれて狭くしてもよい。本変形例では、ライトスキャナ32は、選択パルスPwの波高値を変える代わりに、選択パルスPwのパルス幅を変える。このようにした場合にも、共通の映像信号Dinに応じた信号パルスPsが各画素11に印加された場合に、画素11ごとの信号電圧Vsigのばらつき(Vpix)が抑えられる。その結果、輝度ムラなどの表示不具合を抑制することができる。従って、狭額縁化に伴う表示不具合の発生を低減することができる。